

1. レートベースの厳正な把握について

質問 1-1

資料19-8 質問2-4で光化投資額に占める地下ケーブル以外の割合が高いということでしたが、より具体的に、地下、架空、その他に分けて、過去5年又は10年の数値(投資額と設備量)を教えてください。

【佐藤構成員】

回答

- 地下光ケーブル、架空光ケーブル、その他(ONU等)の過去5年における投資額および光ケーブル長(設備量)※は下表のとおりです。

構成員限り

※投資額および光ケーブル長(設備量)は各年度に取得したものを記載

「接続料の算定に関する研究会」(第19回) に対する追加質問 (回答)

1. レートベースの厳正な把握について

質問 1-2

資料 19-8 質問 2-2 に関連して、追い張りの決定をしてから工事完了までに要するプロセスと平均的な工事日数を地下と架空それぞれについて教えていただきたい。

【佐藤構成員】

回答

- 地下光ケーブルと架空光ケーブルについて追い張りを実施する際の標準的な工程と期間は下表のとおりです。
(地下ケーブルは架空ケーブルに比べ敷設距離が長く、工程も多いことから、工事完了に要する期間も長くなります)

構成員限り

「接続料の算定に関する研究会」（第19回）に対する追加質問（回答）

1. レートベースの厳正な把握について

質問 1 - 3

架空ケーブルの敷設年と現在の芯線利用率について、地下ケーブル（資料19－8）にならって、より詳しく調査いただきたい。

【辻座長等】

回答

- 光ケーブルの敷設状況について方面毎に整理が可能な地下光ケーブルに比べ、架空光ケーブルは、多数の電柱に地下から光ケーブルを引き上げたのちに、道路環境や建物の状況に応じて多方面に枝分かれしています。そのため、地下ケーブルでご提示したような光ケーブル敷設状況の面的な調査を行うことは困難です。したがって、第18回研究会でお示した2ルートに加え、新たに2ルートを調査しました。
- なお、架空光ケーブルも地下光ケーブルと同様の投資判断を行っており、引き続き架空光ケーブルの調査を進めたとしても、地下光ケーブルの調査結果と同様の結果が得られるものと想定されます。

新宿ビル 架空光ケーブルの芯線使用率

東日本

大規模

- 芯線使用率を時系列で見た場合、先に敷設したケーブルの芯線使用率が高まってから新しいケーブルを追い張りをしています。

構成員限り

大阪日本橋ビル 架空光ケーブルの芯線使用率

西日本

大規模

- 芯線使用率を時系列で見た場合、先に敷設したケーブルの芯線使用率が高まってから新しいケーブルを追い張りをしています。

構成員限り